

ようこそ『スポーツウエルネス学学位プログラム』へ

本学位プログラムは、変化が激しい社会のさまざまな課題に対応できるスポーツとウエルネス領域の高度人材育成を目指しています。

2019 年に中国武漢市で感染が報告され、パンデミックとなった新型コロナウイルス感染症は私たちの意識や生活に大きな影響を及ぼしました。昨年 5 月に「5 類感染症」となり、以前の日常が戻ってきましたが、3 年以上に渡って制限下での活動を余儀なくされました。このことは負の側面が多かった一方で、DX の推進やテレワークを含む働き方の見直しなどが一気に促進される原動力にもなりました。ある調査では、10～20 年後には IT の進化によって 50%近い職業がなくなると言われています。また、人生 100 年時代、超高齢化社会、少子化、環境問題などもあります。

このような現代を生きる私たちに求められるものは何でしょうか。国は、社会の諸課題への的確な対応のために「総合知」を推進しています。「総合知」とは多様な「知」が集い、新たな価値を創出する「知の活力」を生むことです。多様な「知」とは、属する組織や専門領域に捉われずに集うこと。まさに本学位プログラムが目指す姿です。入学された皆さんは、年齢、キャリア、バックグラウンド、課題意識など多くの違いがあります。そして、それぞれが社会人としての経験から「何が問題なのか」という課題を持ち、「何かを変えたい」という意識と意欲があるはずです。このような多様な学生が互いに学び、研究することで社会を変えるイノベーションの芽が生まれることが期待されます。

スポーツとウエルネスは、時代が変わっても人間に依拠するものであるが故になくならない領域です。一方で解釈や活用については多様化し、変化し続けているといっても過言ではありません。IT 等の進化によって人間の役割は変わっていきます。そんな現代、未来であるからこそスポーツ、ウエルネスの重要性は増していくはずです。皆さんが感じている課題を解決するために、社会人の特徴でもある強い先入観を一旦はおいて、科学的な手法を学び、多様な教員や仲間と議論を重ねてください。その先には、きっとこれまでとは違った何かが見えてくるはずです。

本学位プログラムは来年度から、スポーツヘルスプロモーション分野とスポーツウエルネスマネジメント分野（協働大学院方式）という新しい形になります。それぞれの分野に特徴がありますので、資料や説明等を参考にして、自分にあった分野を選択するようにしてください。

仕事との両立は簡単ではないはずです。しかし、ここで学び研究する日々は、これまで見たことのない景色を見せてくれるはずです。教員は、教育、研究へのサポートはもちろんですが、皆さんがぶつかる問題や困難にも寄り添っていく経験と覚悟を持っています。皆さんと共に学ぶ日を楽しみにしています。

SWP博士後期
修了生 課題解決型PW・論文題目 一覧

期	氏名	課題解決型PW題目	論文題目
1	塚尾 明子	コミュニティ単位で健康づくり無関心層にも届く情報伝達システム構築プロジェクトー健幸アンバサダー制度設計ー	健康づくり無関心層に効果的に健康情報を届けるインフルエンサー養成システムの開発
	和久 貴洋	JAPAN SPORT NETWORK 共催事業における地域スポーツ政策イノベーション創出モデルの開発ー睡眠とスポーツを組み合わせたスポーツ参加促進プロジェクトを事例としてー	自治体におけるスポーツ政策イノベーションの促進要因に関する研究
2	浅川 伸	2020年に向けたドーピング検査員(DCO)の育成・研修対応における模擬研修会の実効性の向上	大規模国際競技大会におけるドーピング検査員育成の課題とそのあり方に関する研究
	塚本 拓也	アクション・リサーチによる日本で実施する国際的なスポーツ経営人材を育成する教育プログラム構築の実践ー「MESGO東京セッション」を事例としてー	日本における国際的スポーツ経営人材育成の可能性に関する研究ーMESGO東京セッションを事例としてー
3	鬼村 優一	自治体・医師会・民間事業者が共同で取り組むスポーツ療法プロジェクト	自治体における医療連携を基盤とした健康スポーツ療法の普及
	小坂 真	ジュニアアスリートの走能力向上を促進するエクササイズプログラムの開発ーフィジカルリテラシー習得の観点からー	ジュニアアスリートの疾走能力向上を促進するエクササイズプログラムの開発ーフィジカルリテラシーの観点からー
	更科 枝里	行政の介護予防事業へのロボットテクノロジーの導入プロジェクトー通所型「短期集中リハビリ」へのHybrid Assistive Limb (HAL) 腰タイプ導入ー	行政の介護予防事業へのロボットテクノロジー導入促進に関する研究
4	木原 慎介	生徒の運動実践や相互作用を促進するオンライン体育(OLPE)のプロトタイプ開発ー現職体育教師との協働的アクション・リサーチを通してー	アフターコロナを見据えた体育授業におけるICT活用の意義とその促進に関する研究
5	田丸 尚稔	外部専門家参加によるスポーツ強豪校運動部員の主体性育成プロジェクトー関東地方私立A高等学校のサッカー部・野球部・駅伝部の事例分析ー	複数の外部専門家が参画する運動部活動の指導体制構築に関する研究:競技志向の高い私立A高校を事例として
	若松 朋由	中小企業向けヘルスリテラシー向上プログラムの導入・普及に関する研究ー健康産業主導のコンソーシアムによる取り組みー	健康経営推進に課題が見られる中小企業社員へ健康情報を届けるモデルの開発
6	忠鉢 信一	トレイルで生じる軋轢解決に向けたプロセスとその成果ー長野県上田市の太郎山登山競走実行委員会の取り組みを通じてー	トレイルで生じる軋轢解決に向けたプロセスとその成果ー長野県上田市の太郎山登山競走実行委員会の取り組みを通じてー
	山下 修平	ハイパフォーマンススポーツにおける事業マネジメント担当者のための学習支援パッケージ提供プロジェクト	組織規模が小さい中央競技団体に対するスポーツ統括組織による事業マネジメント促進のための支援のあり方

履修方法・修了要件

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群
スポーツウエルネス学学位プログラム(博士後期課程)

科目区分	条件	科目名等	修得単位数
基礎科目	必修	課題解決型データ分析特講1	1
		課題解決型データ分析特講2	1
専門科目	必修	スポーツウエルネス研究演習Ⅰ	1
		スポーツウエルネス研究演習Ⅱ	1
		スポーツウエルネス研究演習Ⅲ	1
	必修	課題解決型プロジェクトワークⅠ	1
		課題解決型プロジェクトワークⅡ	2
修了単位数			8

(修了要件)

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年(修士課程早期修了者等)にあっては当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。

(注)教育上有益と認められる場合には、本学位プログラムの定める範囲において、他の学位プログラムの授業科目の履修により修得した単位を修了の要件となる単位として認める。

履修方法の詳細

1. 修了に必要な単位は、以下のとおりである。

(1) 基礎科目（必修）

- ・課題解決型データ分析論特講 1
- ・課題解決型データ分析論特講 2 以上 2 科目（2 単位）

(2) 専門科目（必修）

- ・スポーツウエルネス研究演習 I
- ・スポーツウエルネス研究演習 II
- ・スポーツウエルネス研究演習 III
- ・課題解決型プロジェクトワーク I
- ・課題解決型プロジェクトワーク II 以上 5 科目（6 単位）

2. 修了要件は、原則として、

- ・指定された必修科目の 8 単位以上の取得
 - ・博士論文の審査及び最終試験に合格すること
- ※研究論文誌で筆頭論文 1 編以上を持つことが望ましい

本学位プログラムに 3 年以上在学し、上記の修了要件を全て満たした者には、「博士（スポーツウエルネス学）」の学位が授与される。

開設母体

要件
スポーツウエルネス学学位プログラム(博士後期課程)

基礎科目(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTS011	課題解決型データ分析論特講1	1	1.0	1	春BC	応談		岡田 幸彦	受講生が、自身の研究課題、問題意識、保有データに対して、社会科学の立場から適切な実証研究計画を立てられるようになることを目標に、社会科学のデータ分析手法や研究デザインを学ぶ。特に、受講生の研究課題、問題意識、保有データに対して適切な分析手法について、深い理解を得られるように、対話形式で授業を進める。社会科学の実証分析手法は多様である。これらを適切に使いこなせるように、授業では典型的な実証研究論文を取り上げる予定である。	開講日：6/24, 7/1 (予定) 受講はスポーツウエルネス学学位プログラム(後期課程)の学生に限る 対面
OBTS012	課題解決型データ分析論特講2	1	1.0	1	秋AB	応談		岡田 幸彦	世の中には、多様な社会データが存在している。これからの時代に利用可能な各種データに対する最先端の解析技術・方法論を事例紹介するとともに、それらのスポーツウエルネス領域への応用可能性を議論する。なお、授業では、筑波大学サービス工学ビッグデータCoEの成果を取り上げることを中心に進める予定である。	開講日：10/28, 11/4 (予定) 受講はスポーツウエルネス学学位プログラム(後期課程)の学生に限る 対面

専門科目(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTS111	スポーツウエルネス研究演習I	2	1.0	1	通年	随時		尾縣 貢, 久野 譜也, 水上 勝義, 山口 香, 柴田 愛, 辻 大士, 和久 貴洋, 清水 和弘	博士論文の構成の輪郭を固めると同時に、課題解決型プロジェクトワークの具体化を進める。スポーツウエルネス領域に関する研究及び課題解決型プロジェクトワークについて指導教員を中核としてメンター教員を含めての指導のもとに研究計画を立案し、研究テーマの設定を行う。 中間報告会Iに終日参加すること、および、研究テーマおよび研究計画を発表する。	受講はスポーツウエルネス学学位プログラム(後期課程)の学生に限る 対面
OBTS112	スポーツウエルネス研究演習II	2	1.0	2	通年	随時		尾縣 貢, 久野 譜也, 水上 勝義, 山口 香, 柴田 愛, 辻 大士, 和久 貴洋, 清水 和弘	博士論文の中核となる研究を遂行し、その内容に関する考察力を高める。スポーツウエルネス領域に関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究を実施し、資料・データの解析、プレゼンテーションの方法等について学ぶ。 中間報告会IIに終日参加すること、および、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表する。 スポーツウエルネス研究演習IIまたはIIIで、国際学会で1回以上の発表を行う(海外での調査研究に代えることができる)。	受講はスポーツウエルネス学学位プログラム(後期課程)の学生に限る 対面
OBTS113	スポーツウエルネス研究演習III	2	1.0	3	通年	随時		尾縣 貢, 久野 譜也, 水上 勝義, 山口 香, 柴田 愛, 辻 大士, 清水 和弘, 和久 貴洋	博士論文合格できる取りまとめ力を身につけるスポーツウエルネス領域に関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究成果をまとめる。 スポーツウエルネス研究演習IIまたはIIIで、国際学会で口頭発表を1回以上行う。(海外での調査研究に代えることができる)	受講はスポーツウエルネス学学位プログラム(後期課程)の学生に限る 対面
OBTS114	課題解決型プロジェクトワークI	3	1.0	1	通年	随時		尾縣 貢, 久野 譜也, 水上 勝義, 山口 香, 柴田 愛, 辻 大士, 安藤 梢, 田邊 解, 和久 貴洋, 清水 和弘	世界や日本におけるスポーツウエルネス領域リーダーとして、社会的問題や課題を解決できる論理的・実践的能力を身に付ける。スポーツウエルネス領域で学んだ知識や能力を実務に生かすための経験やトレーニングを行う。具体的には、スポーツウエルネス領域に関わる官庁、地方自治体、NPO、民間等の機関などの実際の受け入れ現場において、課題設定を行い、その解決のためのプロジェクトを実施する。 この授業では、課題解決型プロジェクトワークを実施する上で、理解すべき重要な研究方法であるアクションリサーチ法についての理解を深めるとともに、事前計画(実習テーマ設定、計画書の作成、発表)を行う。	受講はスポーツウエルネス学学位プログラム(後期課程)の学生に限る 02JL105と同一 4/12(水)、5/10(水)、7/12(水)の7、8限に全員での授業を実施、その他はゼミごとの開講になります。 対面
OBTS115	課題解決型プロジェクトワークII	3	2.0	2・3	通年	随時		尾縣 貢, 久野 譜也, 水上 勝義, 山口 香, 柴田 愛, 辻 大士, 安藤 梢, 田邊 解, 和久 貴洋, 清水 和弘	世界や日本におけるスポーツウエルネス領域リーダーとして、社会的問題や課題を解決できる論理的・実践的能力を身に付ける。スポーツウエルネス領域で学んだ知識や能力を実務に生かすための経験やトレーニングを行う。具体的には、スポーツウエルネス領域に関わる官庁、地方自治体、NPO、民間等の機関などの実際の受け入れ現場において、課題設定を行い、その解決のためのプロジェクトを実施する。 この授業では、フィールドワーク、事後報告(フィールドワーク報告書の作成、発表)を行う。事後報告では、フィールドワーク実施内容、実施中に生じた問題点などに対する解決策を提示、新たな問題提起、大学院で学習した理論・議論の再構築等に関する考察及び発表を行う。	受講はスポーツウエルネス学学位プログラム(後期課程)の学生に限る 02JL106と同一 対面

参 考

令和6年度学年暦カレンダー【東京地区】

大学院関係:東京キャンパス

春 学 期										秋 学 期									
月	日	月	火	水	木	金	土		備考	月	日	月	火	水	木	金	土		備考
4月		1	2	3	4	5	6		春季休業4.1-4.5 入学式4.6、新入生オリエンテーション4.6 春学期授業開始4.9	10月			1	2	3	4	5		秋学期授業開始10.1
	7	8	9	10	11	12	13				6	7	8	9	10	11	12		
	14	15	16	17	18	19	20				13	14	15	16	17	18	19		
	21	22	23	24	25	26	27				20	21	22	23	24	25	26		
	28	29	30								27	28	29	30	31				
5月				1	2	3	4			11月						1	2		11.9臨時休業(入学試験実施)
	5	6	7	8	9	10	11				3	4	5	6	7	8	9		
	12	13	14	15	16	17	18				10	11	12	13	14	15	16		
	19	20	21	22	23	24	25				17	18	19	20	21	22	23		
	26	27	28	29	30	31					24	25	26	27	28	29	30		
6月							1			12月									冬季休業12.25-1.3
	2	3	4	5	6	7	8				1	2	3	4	5	6	7		
	9	10	11	12	13	14	15				8	9	10	11	12	13	14		
	16	17	18	19	20	21	22				15	16	17	18	19	20	21		
	23	24	25	26	27	28	29				22	23	24	25	26	27	28		
7月									春学期授業終了7.27	1月				1	2	3	4		
	7	8	9	10	11	12	13				5	6	7	8	9	10	11		
	14	15	16	17	18	19	20				12	13	14	15	16	17	18		
	21	22	23	24	25	26	27				19	20	21	22	23	24	25		
	28	29	30	31							26	27	28	29	30	31			
8月					1	2	3		春ABCモジュール期末試験7.23-7.25,8.2-8.3 予備日7.30-8/1 夏季休業8.4-9.30	2月							1		秋学期授業終了2.1 秋ABCモジュール期末試験 1.21,1.29-1.31, 2.8 予備日1.28,2.4-2.5 春季休業2.9-3.31
	4	5	6	7	8	9	10				2	3	4	5	6	7	8		
	11	12	13	14	15	16	17				9	10	11	12	13	14	15		
	18	19	20	21	22	23	24				16	17	18	19	20	21	22		
	25	26	27	28	29	30	31				23	24	25	26	27	28			
9月										3月							1		法科大学院修了日3.17 大学院学位記授与式3.29
	1	2	3	4	5	6	7				2	3	4	5	6	7	8		
	8	9	10	11	12	13	14				9	10	11	12	13	14	15		
	15	16	17	18	19	20	21				16	17	18	19	20	21	22		
	22	23	24	25	26	27	28				23	24	25	26	27	28	29		
授業 日数			15	15	15	15	15			授業 日数			15	15	15	15	15		

(注) 1. ○囲みは、国民の祝日に関する法律による休日(振替え休日含む)を示す。
2. 期末試験日は 〓で示し、試験予備日を 〓で示す。
3. 授業日は 〓で示す。

4. 入学式・新入生オリエンテーション・学位記授与式は 〓で示す。
5. 11月9日(土)は入学試験関係で全日臨時休業とする予定。

スポーツウエルネス学学位プログラム（博士前期課程・博士後期課程）
2025（令和7）年度 入学試験関係日程概要（2024年実施）

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 スポーツウエルネス学学位プログラム 【博士前期課程】

試験区分	オープン キャンパス	資格審査受付期間	Web出願 及び 願書受付期間	筆記試験	口述試験	合格発表
推薦入試	2024/5/25（土）	2024/6/4（火）～2024/6/8（土）	2024/6/11（火）～2024/6/22（土）		2024/7/13（土）	2024/8/1（木）
一般入試		2024/6/25（火）～2024/6/29（土）	2024/7/2（火）～2024/7/13（土）		2024/9/7（土）	2024/10/1（火）

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 スポーツウエルネス学学位プログラム 【博士後期課程】

課程	オープン キャンパス	資格審査受付期間	Web出願 及び 願書受付期間	筆記試験	口述試験	合格発表
【博士後期課程】	2024/5/25（土）	2024/9/3（火）～2024/9/7（土）	2024/9/17（火）～2024/9/28（土）		2024/11/9（土）	2024/12/6（金）

注1：出願には『Web入力システム』を導入しています。

注2：募集要項・出願書類・一般入試の過去問題・『Web入力システム』は、

東京キャンパスWebサイト<<https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/>> の入試情報<<https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/examinee/>> よりご確認ください。

スポーツウエルネス学学位プログラム
（博士前期課程）：https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/program/sport-wellness_master/

スポーツウエルネス学学位プログラム
（博士後期課程）：https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/examinee/sport-wellness_doctor/

注3：博士後期課程の外国語試験は、TOEIC® Listening & Reading Testの公式認定証の点数（第2段階選抜実施月の2年前以降に公開テストを受験し公式認定証が発行されたもの）を評価します。詳細は、募集要項を確認してください。

参考：スポーツウエルネス学学位プログラムWebサイト <<https://www.shp.taiiku.otsuka.tsukuba.ac.jp/>>

社会人大学院等支援室 教務担当

お問い合わせ：businessentrance@un.tsukuba.ac.jp